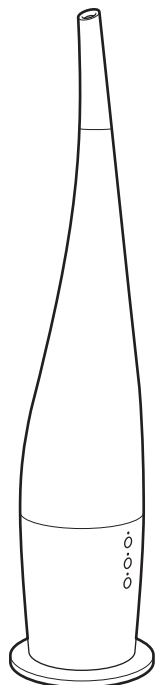


ハイブリッド式加湿器 DKHX-3511

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P. 1~2
各部の名称とはたらき	P. 3~4
正しい使いかた	P. 5~9
お手入れと保存	P. 10~11
修理・サービスを依頼する前に	P. 12
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

型 名	DKHX-3511
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	83W
加湿方式	ハイブリッド式
加湿性能	1時間あたり[強]約350ml / [中]約250ml / [弱]約150ml / [微弱]約100ml
連続加湿時間	約 8.5 時間 ([強]運転時)
水タンク容量	約 3L
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 直径 20 × 高さ 89 cm
質 量	約 2.2 kg
付 属 品	取扱説明書・保証書× 1、吸気フィルター×1 (本体に装着済)、フェルト× 4 (1枚は本体に装着済)、掃除用ブラシ×1



- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	①は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、①の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

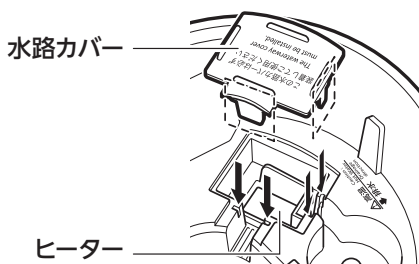
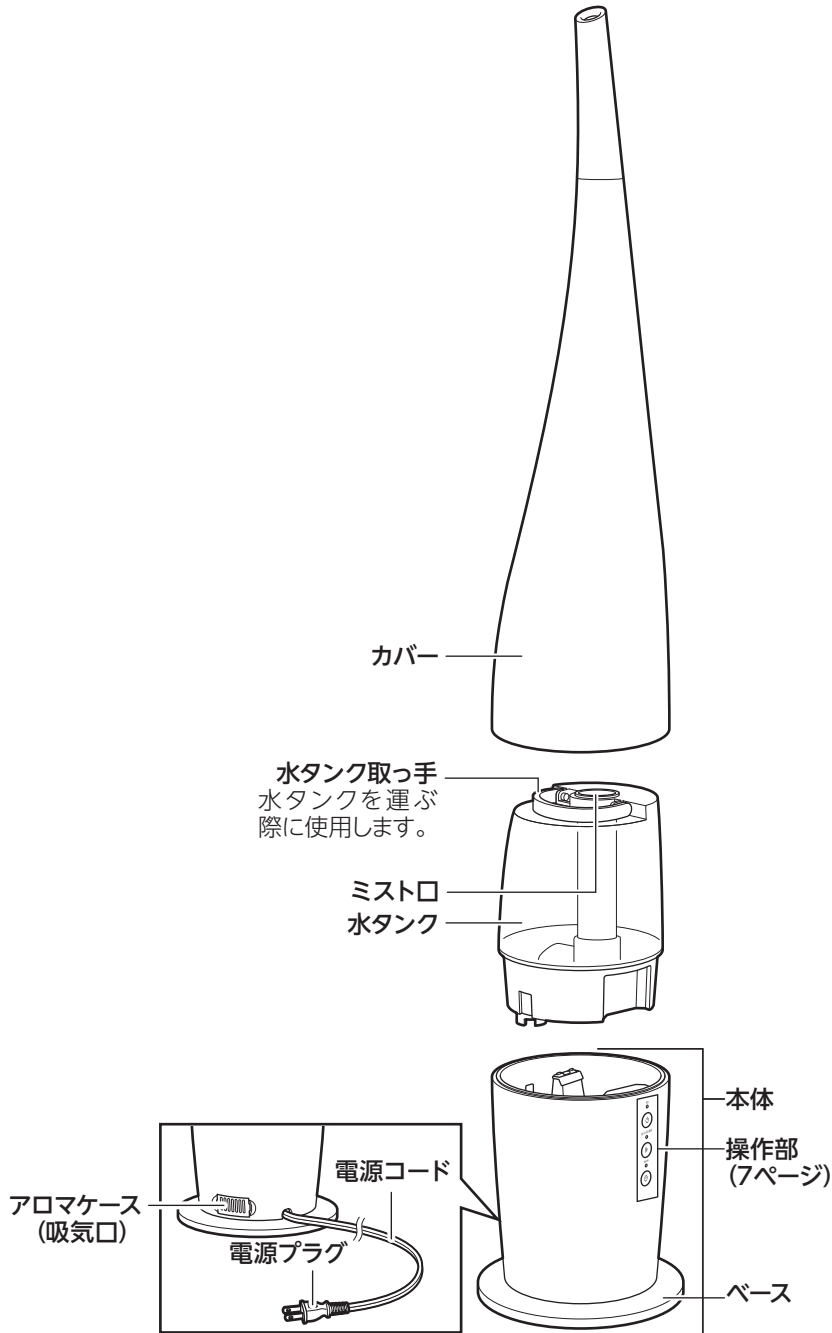
警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
 禁止	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・感電の原因になります。	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。	
 禁止	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

! 注意

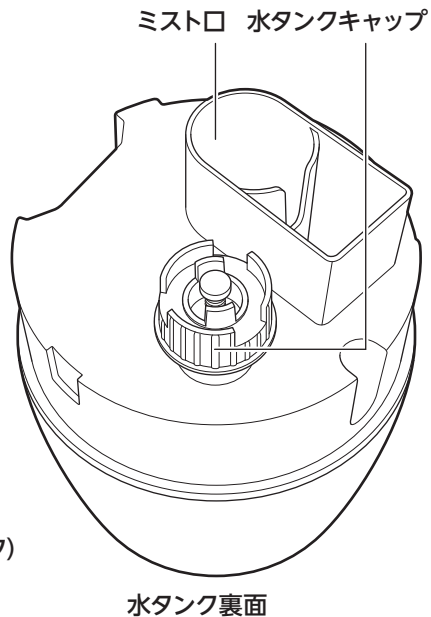
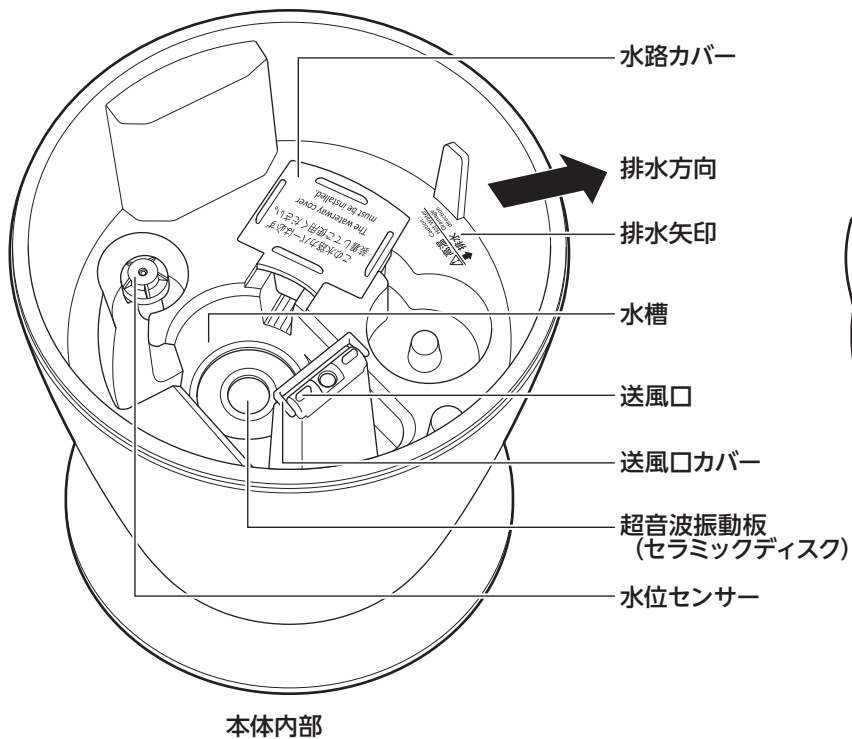
	<p>湿度の高いところ(85%以上)では使用しない。 室内を濡らしたり、故障の原因になります。</p>		<p>水タンクには水を入れたまま温度変化の大きい場所に放置しない。 水タンク内の水の熱膨張によって、水漏れ・故障の原因になります。</p>
	<p>ミストが直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。 本体を壁、家具、カーテン、寝具などから50cm以上離してご使用ください。</p>	 禁止	<p>本製品の近くに携帯電話やパソコンなどを置かない。 加湿器の運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器などは加湿器の近くに置かないでください。 水道水に含まれるミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)がミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。人体には無害ですが精密機器、電子機器などの故障の原因になりますので、ホコリや汚れに弱い機器のあるところでは使用しないでください。</p>
	<p>犬やネコなどのペットのためには使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になります。</p>		<p>本体を傾けない。 水タンクに水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる原因になります。</p>
	<p>傾いた場所や棚などの高い場所、不安定な場所には置かない。 転倒すると、本体の破損・けがの原因になります。</p>		
	<p>ミスト吹出口に指を入れない。 けがの原因になります。</p>		<p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。</p>
	<p>ミスト吹出口をふさがない。 変形・故障の原因になります。</p>	 禁止	<p>本製品を使用しないときは、水を捨てる。 使用しない水をそのままにしておくと、カビや雑菌が繁殖し異臭の原因になります。 使用しないときは、水タンクと水槽の水を捨ててください。</p>
	<p>水道水以外は使用しない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水アカが多くなったりして、異臭の原因になります。</p>	 指示	<p>水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。</p>
	<p>お湯は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形・誤動作の原因になります。</p>		<p>本体の水を捨てるときは、排水方向の矢印の方向から捨てる。 他の方向から水を捨てると、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。</p>
	<p>アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対に入れない。 本体の破損・故障の原因になります。</p>		<p>凍結に注意する。 凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てる。</p>
	<p>次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウムは絶対に入れない。 本体の破損、故障の原因になります。人体に害を及ぼすことがあります。</p>		<p>本製品はテレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。 雑音の原因になります。</p>
	<p>お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>		

各部の名称とはたらき

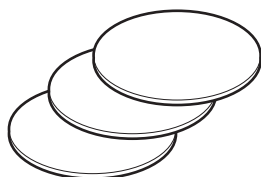


※ 水路カバーを正しく取り付けないと、本体より水があふれる原因になります。

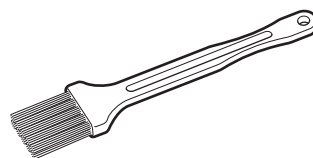
水路カバー下部脚部分 (点線部) を本体水路の溝部 (矢印で指し示している箇所) にしっかりと差し込んでください。



付属品



交換用フェルト



掃除用ブラシ

⚠️ 注意

- 本体の水がたまる部分にある、水位センサーのフロート（ドーナツ状の白い浮き）が上下に動くことを確認する。
貼りついた状態では給水表示ランプが誤点灯し、水漏れの原因になります。
- アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。
本体の破損・故障の原因になります。
- 本体を移動させる場合は、先に水タンクをはずし、排水矢印の方向から本体の水を捨てる。
水タンク及び本体の水がこぼれる原因になります。
- 水路カバーを必ず取り付けて使用する。
取り付けないで使用すると水漏れの原因になります。お手入れの時以外は取りはずさないでください。
- 本体の水を捨てるときは、排水矢印の方向から捨てる。
他の方向から水を捨てると、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

正しい使いかた

使用前の準備

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。



テレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。
雑音の原因になります。

2. 給水する

- ① 本体上部のカバーをはずします。
- ② 本体より水タンクを取り出し、水タンクキャップをはずして、きれいな常温の水道水を入れてください。
- ③ 水タンクキャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。



• 水道水以外の水は使用しない。
• 運転終了後、再度給水する場合はカバーを取りはずすときにカバー内部の水滴がこぼれますので、タオルなどを準備して本体や床が濡れないようにしてください。

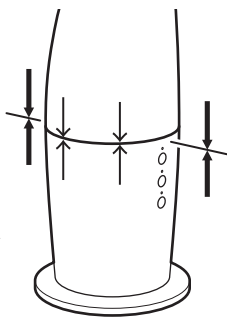
3. 水タンク・カバーを本体に確実に取り付け

水タンクを本体に取り付け、本体にカバーをしっかりかぶせます。

本体とカバーはすき間のないようにしっかり取り付けてください

上から押し付けて確実に取り付けます。

すき間があると、水もれなどの原因になります。

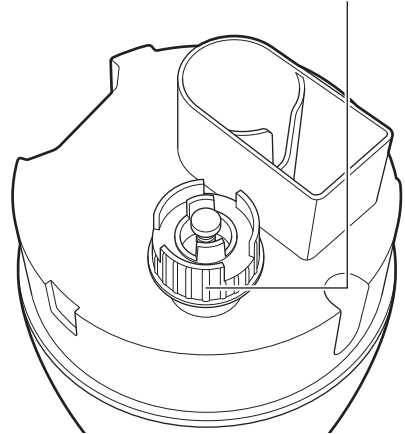


外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
消し忘れ・火災の原因になります。

4. 電源プラグをコンセントに差し込む

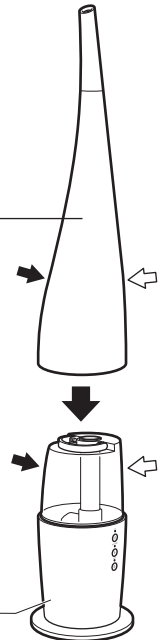
※ 水が本体内の水位センサーまで届いていないときは、給水ランプが点灯し、ブザーが5回鳴ります。

水タンクキャップ



水タンク裏面

水タンクの傾いている面とカバーの傾いている面(⇒)は正面です。
まっすぐな面(⇔)は裏側です。
だいたいの方向を合わせてカバーをのせ、多少左右に回転させて調整し、ぴったりはまるように取り付けてください。

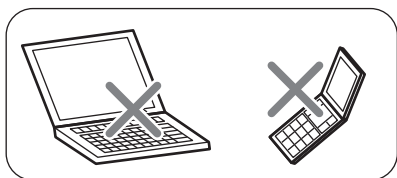
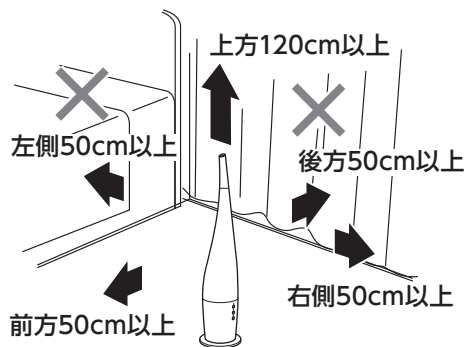


正面

本製品は壁や周囲から適切な距離を保ってください。

本製品の設置は以下の点に注意してください。

- 本製品は壁、寝具、カーテン、家具などから50cm以上離して設置してください。
- ミスト吹出口を壁、寝具、カーテン、家具に向けないでください。



- 本製品を使用すると、水道水に含まれるミネラル分などがミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。近くに置いた家具や電子機器などに付着し、白い汚れになったり、機器の機能に悪影響を与えてしまいますので、設置場所には十分注意してください。
- 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。

正しい使いかた (つづき)

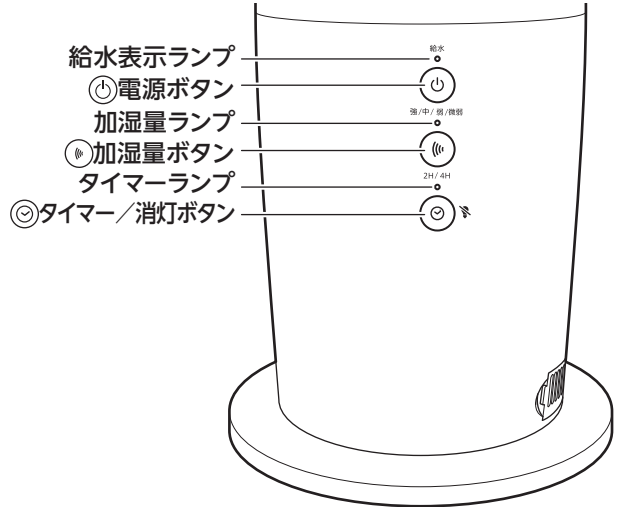
運転の開始／停止

1. 運転を開始する

①電源ボタンを押すと加湿量ランプが青色に点灯し、加湿運転を開始します。

⚠注意

- 冬場に就寝する際、暖房器具を止めてしまうと室温が徐々に低下、空気が保水できる量が下がってくるため、加湿器のミストが空気中に拡散されにくくなります。拡散されないミストは粒のまま自重で落ちて霧雨が降ったように床がしっとりと濡れます。長時間続くと水漏れしたように水溜りとなることがあります。冬場の就寝時には、加湿量の調節を「微弱」にするか、状況によっては使用を停止してください。また、タイマー運転の併用をおすすめします。



2. 加湿量を設定する

加湿量を設定するには②加湿量ボタンを押します。

加湿量の調節

②加湿量調節ボタンを押すたびに下のように切り替わります。

強 → 中 → 弱 → 微弱

加湿量の設定	加湿量ランプの色
「強」	青色点灯
「中」	緑色点灯
「弱」	オレンジ色点灯
「微弱」	オレンジ色点滅

運転中に給水表示ランプが赤色に点灯したとき

給水表示ランプが赤色に点灯したときは、水タンクの水が足りなくなっていることを示しています。

- 水タンク、水槽内の水が少なくなるとブザーが5回鳴り、給水表示ランプが赤色に点灯し、加湿運転を停止します。
- 水槽に残った水を捨てたあと、新しい水道水を水タンクに入れてください。
- 水タンクより本体に水が行きわたりますと、給水表示ランプが消灯します。
①電源ボタンを押して、運転を開始してください。

⚠注意

水槽の水を捨てるときは、排水矢印の方向から捨てる。他の方向から水を捨てる、送風口に水が入るなど、故障の原因になります。

減光モード

本体の操作をしてから約1分経過すると、自動的に点灯・点滅しているランプが減光モードになります。再度、本体のボタンを押して操作がされるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

消灯モード

本体の◎タイマーボタンを長押しすると、消灯モードが設定され、点灯・点滅するランプを消灯させることができます。

再度、本体のボタンを押して操作がされるとともに消灯モードが解除され、ランプが点灯・点滅します。

3. 運転を停止する

①電源ボタンを押すと、運転を停止します。

加湿運転を停止後、約1分間送風運転を行ない、その後完全に停止します。

4. 電源プラグをコンセントから抜く



警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。



注意

- ・長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜く。待機電力が発生しなくなり、省エネになります。
- ・運転中に、停電や電源プラグが抜けたときは、始めから操作をやり直す。運転が停止し、すべての設定が解除されます。

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中に◎タイマー/消灯ボタンを押して切タイマーの時間を設定する

◎タイマー/消灯ボタンを押して、切タイマーの時間を設定することができます。

- ・切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルする

タイマー/消灯ボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させます。

切タイマーの設定

◎タイマー/消灯ボタンを押すたびに下のよう切り替わります。

2時間 → 4時間 → タイマー切

タイマーの設定	タイマーランプの色
2時間	白色点灯
4時間	白色点滅
切	消灯

切タイマー設定後、タイマーランプはタイマーがはたらくまでの時間を表示します。

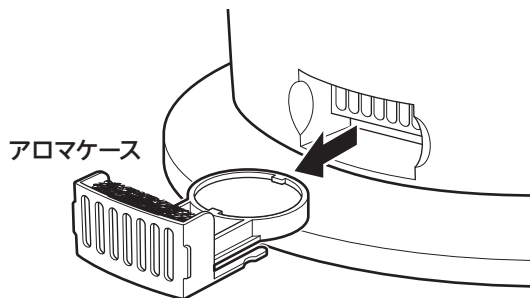
白色点滅 → 白色点灯 → 消灯
(4時間以内) (2時間以内) (タイマー作動)

正しい使いかた (つづき)

アロマケースの使いかた

1. 本体に取り付けられているアロマケースを引き出す
2. アロマケースに取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませ、本体に取り付ける

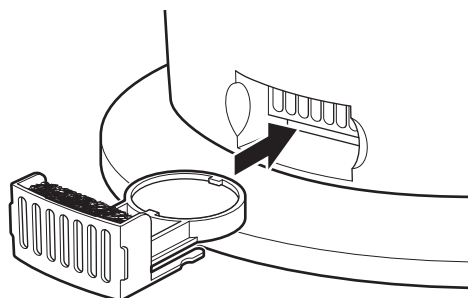
アロマケースにフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販の『アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイル』(以下、アロマオイルなど)を外側にこぼれないよう注意しながら2~3滴フェルトに染み込ませます。次にアロマケースを本体の奥までしっかりと差し込みます。



⚠️ 注意

- アロマオイルなどを溢れるまで入れすぎない。
- アロマオイルなどがアロマケースの外側に付着した場合は必ず拭き取る。
- アロマケースの外側にアロマオイルなどが付着した状態で本体に差し込まない。
- 本製品専用のフェルト以外で使用しない。本体の破損・故障の原因になります。

アロマオイルなど



3. 運転を開始する

7ページの「運転の開始／停止」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ加湿をお楽しみいただけます。

アロマオイルなどを入れない場合は通常の加湿器としてご使用いただけます。

フェルトの交換

- フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルなどを使用する場合は、フェルトを交換してください。
- フェルトはご購入時にアロマケースに取り付けられているもの以外に3枚付属品として付属しています。
- フェルトは洗って再使用することができません。
- アロマケースは中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってから、取り付けてください。
- フェルトはアロマケースの爪の下になるように取り付けてください。

アロマオイルなどについて

取り扱いについては、アロマオイルなどに付属の取扱説明書をご覧ください。

交換用フェルト

商品名 フェルト (4枚) 型番 AF-04

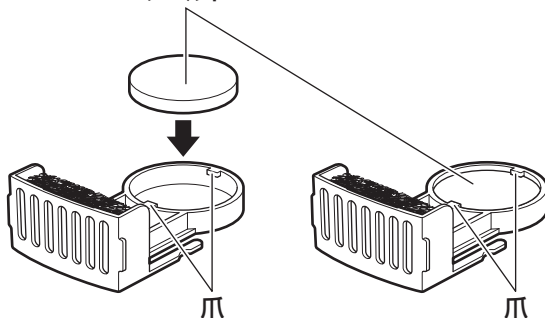
ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

ドウシシャのパーツ購入は  **ドウシシャマルシェ**
DOSHISHA Marche
ONLINE STORE 公式オンラインストアで
<https://www.doshisha-marche.jp/>



ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室 (➡裏表紙) へお問い合わせください。

フェルト



お手入れと保存

警告

- 水タンクを取り出したあと、本体内部の金属部に触れない。
けが・故障の原因になります。
- 必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってから(10分位)お手入れを行なう。
感電・やけど・けがの原因になります。
- 清掃後は、必ず各部品を元通りに取り付ける。
やけど・けが・故障の原因になります。

本体のお手入れ (週に2回以上)

本体に残っている水をきれいに捨ててください。

※ 水を捨てる時は、必ず本体に表示されている排水方向から捨ててください。

排水方向以外から水を捨てると、送風口に水が入るなど故障の原因になります。

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭きとり、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。(本体は強くこすらないでください。傷つきの原因になります。)

※ 水路カバーを取りはずした場合、必ず装着しなおしてください。水漏れの原因になります。

※ 水路カバーを正しく取り付けないと、本体よりお湯があふれる原因になります。

水路カバー下部脚部分(点線部)を本体水路の溝部(矢印で指し示している箇所)にしっかりと差し込んでください。

※ 水を捨て、よく乾燥させてください。

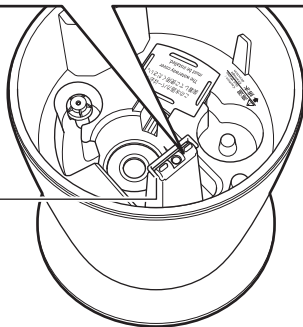
※ お手入れをするとき、オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用中性洗剤を使用しないでください。プラスチックを変色・変質させる原因になります。

お手入れ時の注意

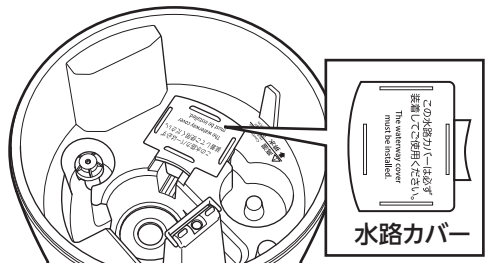
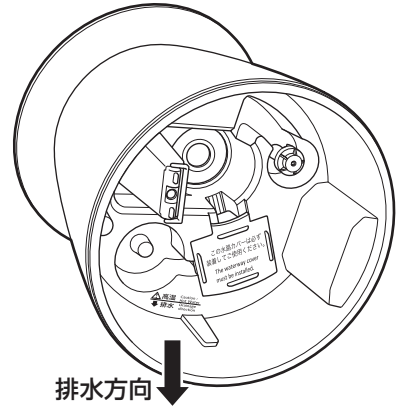
ここに水を掛けないこと!!

中に水が入ると、ミストを吹き上げるファンモーターが壊れてしまいます。

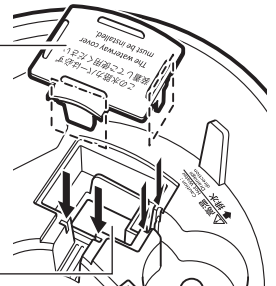
送風口
(送風口カバーの下)



加湿運転時には中にあるファンモーターが回り、送風口から風が出て、発生したミストを上へ吹き上げます。お手入れ時に水を入れないよう十分に注意してください。



水路カバー



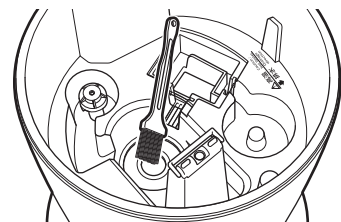
ヒーター



水位センサー

水位センサーのフロート(白いドーナツ状のもの)が上下に動くことを確認してください。

超音波振動板、ヒーター、水槽まわりなどは付属の掃除用ブラシでお手入れしてください



掃除用ブラシはなくさないよう保存し、次回お手入れ時に使用してください。

▶▶ つぎのページにつづく ▶▶

お手入れと保存 (つづき)

※ アロマケースの吸気口のココリを掃除機などで清掃してください。

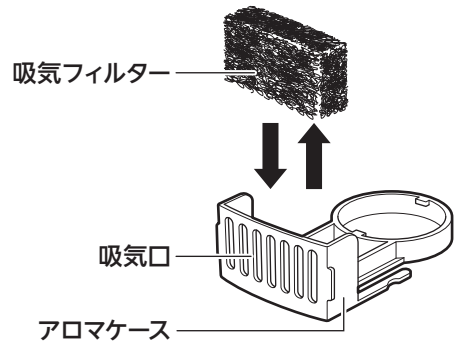
※ アロマケースに取り付けられている吸気フィルターに付着したホコリを水洗いで取り除いてください(強くこすったり、ねじらないでください。破損の原因になります)。

水タンクのお手入れ (週に2回以上)

水タンク内に水を入れ、水タンクキャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。(これを2~3回繰り返します。)

※ 水タンクは必ず水で洗う。

お湯で洗うと変形の原因になります。また洗剤などで洗うと故障の原因になりますので、洗剤などは使わないでください。



⚠️ 注意

- ベンジン・シンナーではふかない。変色・変形の原因になります。
- オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。変色・変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。変色・キズの原因になります。
- 水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする。お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。その場合は、医師に相談してください。
- 水道水以外は使わない。一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ず、きれいな水道水をご使用ください。
- ジュースなどの飲料水、温水(40℃以上)、化学薬品、芳香剤(アロマオイルなど)、洗剤を入れた水などは絶対に使用しない。水タンクや本体が故障する原因になります。

水タンクにカビや雑菌の繁殖が疑われる場合、下記方法にて清掃をお願いします

清掃方法

※ 流し台など水がこぼれても問題のないところで作業を行なってください。

- ① 水タンクへ水を300~500ml程度入れてください。
- ② 水タンクへ適量の台所用塩素系漂白剤を入れてください。
- ③ 水タンクキャップをしっかりと閉めてください。
- ④ 水と漂白剤を攪拌するため、水タンクを5~10回程度振ってください。
- ⑤ 水タンクのキャップ部分が下になるよう置き、30分~1時間程度放置してください。水タンクキャップが床面と接触しないよう気を付けてください。止水弁が押されると水漏れします。

⚠️ 注意

製品本体には取り付けないでください。

- ⑥ 水タンク内部の水を捨て、新しい水で何度か水タンクをよくすすいでください。
※ 汚れのひどいときは2回ほど繰り返してください。

※ 台所用塩素系漂白剤に記載の取り扱い上の注意をご確認ください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込む
加湿しない、または加湿量が少ない	給水表示ランプが赤色に点灯している 超音波振動板（セラミックディスク）が交換時期になっている ※超音波振動板（セラミックディスク）の耐久時間は約3000時間です。	給水する 耐久時間を超えるとミストの発生量が少なくなったり、発生しなくなります 超音波振動板（セラミックディスク）の交換が必要ですので、ドウシヤお客様相談室にご相談ください（交換は有償となります）
給水しても給水表示ランプが赤く点灯する	水タンクが本体に確実に取り付けられていない 水位センサーが動いていない（底面に貼り付いて動かないことがある）	水タンクを確実に取り付け 水位センサーのフロート（白いドーナツ状のもの）が動くことを確認する（10ページ）
においがでる	水道水以外を使用している	水タンクに残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
水タンクにヒビがある	水タンクにアロマオイルなどを入れている	水タンクにアロマオイルなどを入れると水タンクにヒビが発生します。水タンクを交換してください（交換は有償となります）
加湿量ランプやタイマーランプなどの点灯・点滅が暗い	最後に操作してから約1分が経過し、減光モードになっている	本体のⓄ電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モード・消灯モードが解除され、元の明るさに戻る（8ページ）
加湿量ランプやタイマーランプなどが点灯・点滅していない	消灯モードになっている	
加湿量ランプが青色点滅している	ファンモーターの故障	販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO

MEMO

製品についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

 **0120-104-481**

【受付時間】 9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。


※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は 

DOSHISHA Marché 公式オンラインストアで
ONLINE STORE

<https://www.doshisha-marche.jp/>

